

## 外部評価委員会における委員意見への対応

①意見を踏まえて、計画に記載等したもの  
②意見を踏まえて、計画の記述等を変更したもの

## 1 取組方針・方向性等に関するもの

御意見	区分	対応	該当頁
1 ・「医療機能の強化」という言葉は、「高度急性期の専門性の極めて高いもの」というイメージと結び付きやすい。 ・幅広い医療をイメージできるよう、工夫が必要ではないか。	①	・県立病院の役割に応じた、「広い意味での医療」に関する機能強化であることを示したイメージ図を追加した。	●本体 p 24
2 ・「県全体をリードする」といった思いを表現してはどうか。	①	・「県立病院の方向性」において、「県全体の医療を見据え」という文言を追記した。	●骨子 p 4
3 ・地域の医療機関の意見等を反映しながら、県病院の使命である人材育成に更に注力していただきたい。	①	・取組方針の1つとして、「医療人材の育成・派遣機能の強化」を記載した。	●骨子 p 4 ●本体 p 23
		・具体化方策において、人材育成については、地域貢献の区分を新設した。 ・派遣については、新たに行う看護師不足対策(派遣)についても追記した。	●本体 p 30,31

## 2 取組方針・方向性等に関するもの

## (1) 広島

御意見	区分	対応	該当頁
4 ・施設整備の記載が、この計画期間に何をするのかあいまいな表現になっている。	②	・表現を修正した。	●本体 p 21
5 ・広島病院における人材育成は、一つの大きな柱であり、重点的取組項目の「がん」と「人材育成」は分けるべきである。	②	・重点的取組項目を、「救急」、「成育」、「がん」、「人材育成・派遣」の4つとした。	●骨子 p 5
6 ・広島県全域をカバーするひろしま医療情報ネットワーク(HMネット)の将来参加に向けた計画を記載してはどうか。	①	・電子カルテシステムの更新時に参加・接続することを検討しており、その旨を追記した。	●本体 p 29,30
7 ・医療ネットワークについては、倫理的問題なども考慮しながら、取り組むべきである。	①	・適切な点検等による情報セキュリティの確保、職員研修の実施等による個人情報保護の徹底を図りつつ取り組む旨を追記した。	●本体 p 31
8 ・在庫や経費を削減するだけでなく、在庫や経費のあり方や、使ったお金がどれだけ収益を生み出すのに貢献したのかといった観点からの検証が必要である。	②	・病院の機能に応じた在庫のあり方や収益性等を考慮した材料の購入に取り組む旨の記載に修正した。	●本体 p 32

(2) 安芸津

	御 意 見	区分	対 応	該当頁
9	<p>・この委員会の中でこれまで説明・議論してきた、「安芸津病院が県下の地域医療のモデルとなる」という文章を、どこかに盛り込んではどうか。</p>	①	<p>・文言を追加した。</p>	●本体 p 24
10	<p>・取組を収益改善とセットで記載する必要はないのではないか。</p>	②	<p>・「収益改善への取組」の欄を削除した。</p>	●骨子 p 7
11	<p>・安芸津病院の重点項目は、部署の目標のようなものもある。部署全体で取り組めるものとなるよう、もっと絞り込んだらどうか。</p>	②	<p>・地域の「健康寿命の延伸」をキーワードに部署全体で様々な取組を実施することとしている。          ・前回の骨子は各病院A 3・1枚としていたが、様式変更により、広島病院との量的なバランスを図った。</p>	●骨子 p 7
12	<p>・在宅療養支援病院を目指すことやケアミックス（「一般+療養」又は「一般+回復期リハ」）への転換を検討してはどうか。          ・何を捨て、何を守るのかを明確にし、在宅、リハビリ、急性期の割合や対応範囲を決めるべきではないか。</p>	①	<p>・平成24年度の医療需要等の調査・分析においては、ケアミックスも視野に入れて検討し、役割と方向性を再構築した上で今年度から重点的取組（骨子 p 7）を実施していることから、文言を追記した。</p>	●本体 p 22